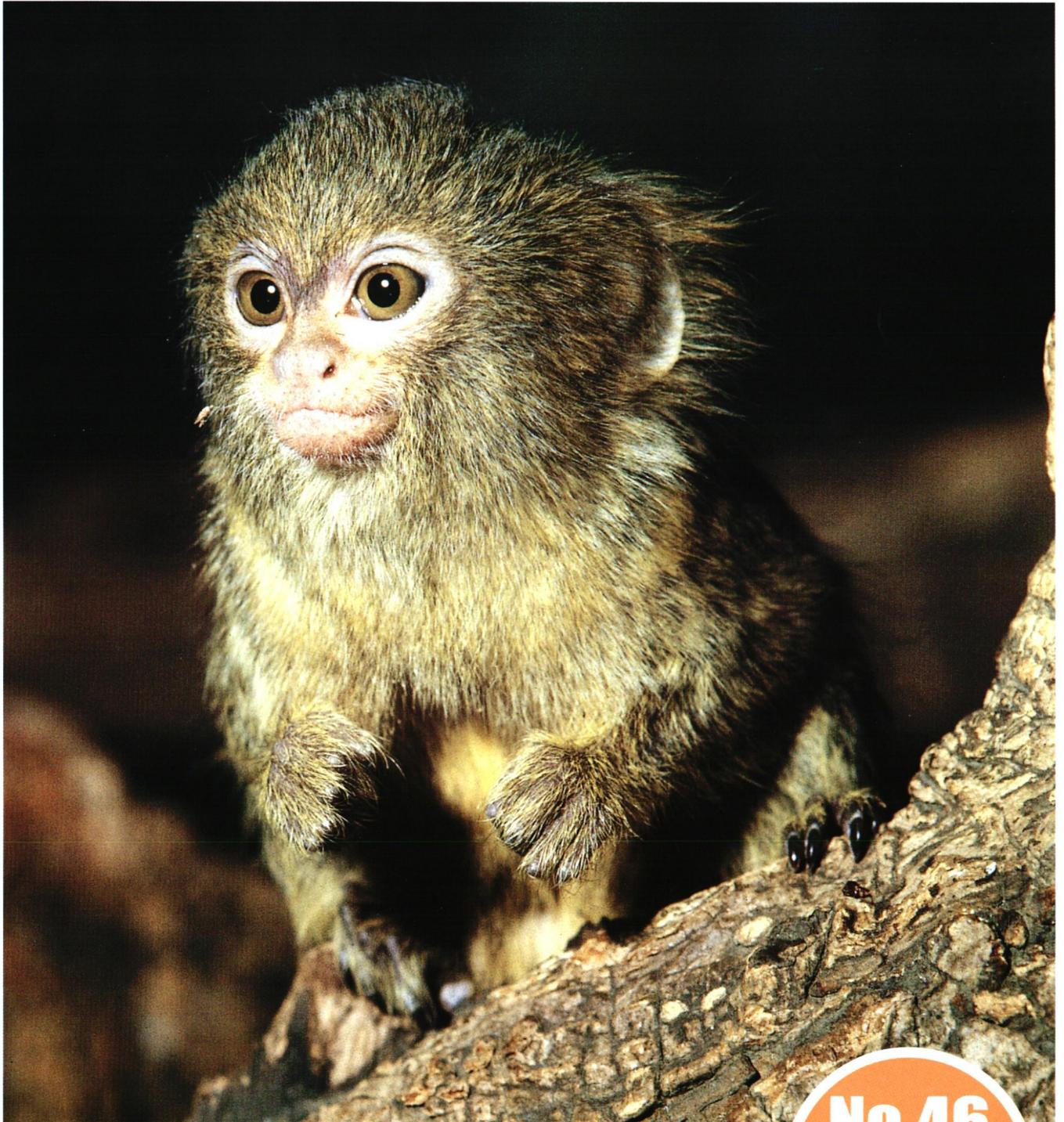


どうぶつこうえんニュース



キンカジュー (食肉目・アライグマ科)

今年の3月より、夜行性動物舎で飼育しているキンカジューを紹介します。キンカジューはアライグマ科の仲間で、メキシコ南部及びブラジルに生息しています。アライグマと同じように手を器用に使って、餌を食べます。逆にアライグマと異なるのは尾に輪状の模様が無く、木枝に尾を巻きつけることができるということです。これを枝から枝への移動の際、落下防止のために巻きつけるのです。また食性もアライグマが食肉目の中でも雑食性であるのに対し、キンカジューは果実食性が強い動物なのです。毛色は深い茶色で、尾は長く、アライグマの半分以下の大きさしかありません。



3月に来園したオスとメスは最初から争う様子もなく、相性が合うようでした。オスの方が少し神経質で、

飼育係が部屋に入るとすぐに逃げ、うなり声をあげていました。まだ、木の洞穴など暗い所で体を休めるので、餌の時間帯以外は巣穴にこもることが多く、観客通路側から姿はなかなか見ることができませんでした。その後環境にも慣れ、姿を見せるようになった1月下旬、オスが部屋の中を走り回るようになったのです。その行動の直後の8月6日、床下に小さな体が丸くなっているの発見しました。子どもが産まれたのです。性別はメスで、体重は200g程でした。母親が育てるかどうか少し心配だったので、子どもを巣箱に入れ様子を伺うことにしました。しばらくすると母親が巣箱に入って横になり、授乳しているのが確認されました。育児は母親のみによって行われ、オスは母子と距離を置くようにしていたので、別に巣箱を1つ設置するようにしました。子どもは子犬のように声をあげることがほとんどなく、ひたすら眠っている感じでしたが、生後18日で眼が開き、体重も徐々に増えていきました。現在では体重が940gにもなり、まだ少し移動にはヨタヨタしていますが、キャベツなどの固形食もかじるようになりました。これからも3頭の親子の様子を見守り、また新たな生命が宿ることを望んでいます。

水上恭男 (Yasuo Mizukami)

目次

CONTENTS

- 表紙【ピグミーマーモセット】 ①
- トピックス【キンカジュー】 ②
- 特集【平成14年度写真コンクール】 ③
- ズーパーカー 発進!! ④
- 千葉市動物公園 写真コンクール ④
- 特別展示室より ⑤
- ーカフジ・ピエガの子どもたちへの手紙ー
- 動物公園の植物②【フサアカシア】 ⑥
- 健康管理センターから ⑥
- 動物公園日誌から【'02.8/1~'02.10/31】 ⑦
- 編集後記 ⑦
- 裏表紙【オウサマペンギン】 ⑧
- Information ⑧

表紙の動物説明 ピグミーマーモセット

メガネザルなどの原猿類を除くサル仲間では最も小さく、体長約14cm・体重約130gしかありません。生まれてすぐの子は体長約6cm・体重約15g程で、雌親の大きさに比べるとかなり大きく、しかも双子を産むことが多いため、雌親の負担を軽くすることもあり、育児は雄親やグループの仲間（兄弟など）が手伝い、雌親は授乳の時だけ抱くことが多いようです。

生息地は他のマーモセット類と少し異なり、アマゾン河上流のアンデス山脈のふもとのジャングルで、昆虫やトカゲなどの小動物のほか、樹液や樹脂が大好物です。成熟した雄は、尻尾を持ち上げて他の雄（飼育担当者にも）に、生殖器を誇示するおもしろい行動が見られます。

秦 舜二 (Shunji Hata)

動物飼育数

平成14年10月末現在の飼育数

哺乳類		両生類	
66種	394点	1種	2点
鳥類		魚類	
79種	290点	0種	0点
爬虫類		総計	
7種	24点	153種	710点

Classified number of animals
as of 31.10.2002



入選 (はばたくで賞) 「存在感」 細谷 明宏



入選 (仲がいて賞) 「仲良し」 岩田 一郎

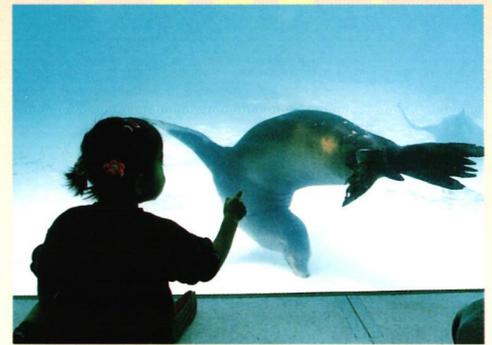
平成14年度 NIP 特 集
写真
コンクール



入選 (気持ちいいで賞) 「気持ちい〜。」 小林 秀子



入選 (美的で賞) 「甘え」 中村 隆次



入選 (よいで賞) 「水中芸」 石川 良彦



入選 (きれいで賞) 「白いシヨールの貴婦人」 中村 信男



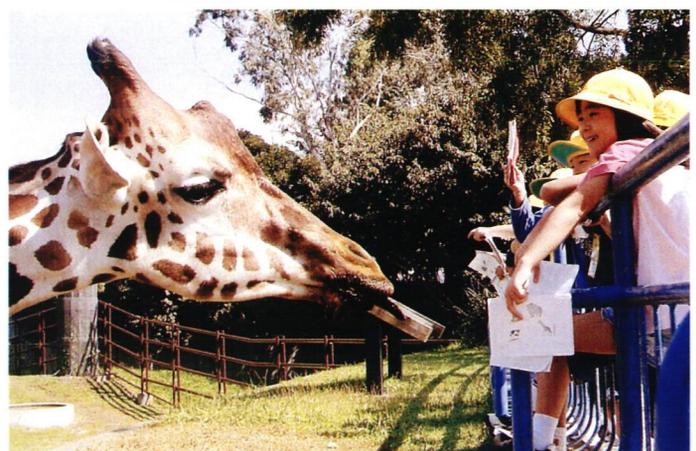
入選 (トリック賞) 「象つかい」 川辺 仁



優秀賞 「おかあさんナーニ」 坂倉 徹



最優秀賞 「おやこ」 高田 健一



特選 「キリンさん」 松野 房江

受賞作品紹介 (敬称略)

千葉県動物公園 写真コンクール

良い写真のヒントは、良い写真をたくさん見ること



撮影：藪内 竜太

写真コンクールでは、「なにを見る人に伝えたかったのか」が表現されている写真を受賞作として選びました。受賞された方は、応募された作品の代表として、これからも自信をもって良い撮影を続けてください。

また、受賞できなかった方々、今回は残念でした。どの方も自信作を応募なさったと思います。「なんでダメだったんだろう」と感じているかもしれません。受賞された作品を見ていただき、なぜ自分の写真が選ばれなかったかを考えるヒントにしてください。それがご自分でわかれば、写真の腕前はグーンと良くなることでしょう。

次回のコンクールにもたくさんの写真が集まることを期待しています。

さとう あきら (Akira Sato)

(動物・自然写真家／平成14年度写真コンクール審査員)



スーパーカー 発進!! Zoo=Park=ar

6月に試験的に行った「スーパーカー」によるガイドですが、この9月より正式に発進となり、11月まで園内を回りました。まだまだ無名なので、少し紹介させていただきます。

スーパーカーというと、どんなすてきな車だろうと期待している方には申し訳ないですが、実は、このスーパーカー、超省エネタイプの車、つまり「自転車」なのです。荷台やかごに、トナカイやヒツジのツノ、鳥の卵や羽をのせてお客様の所に向かいます。今年のルートは、13時15分に科学館を出発して、小動物ゾーン・家畜の原種ゾーン・草原ゾーンを回ります。それぞれ、動物の個体名・来歴や生年月日・おもしろいしぐさや得意なことを少しずつ紹介します。写真や模型を用いたクイズも行います。最後は、フラミンゴの所でくちばしの秘密を標本などで説明したり、片足立ち比べなど（フラミンゴは驚くほど長時間、片足で立っています）で楽しんでいただきます。

これまで、ガイドは行われていたのですが、決められた時間にその場所に集まることがお客様にとって難しいこともあるらしく、遅れてしまうと参加できない場合も出てくるようです。それなら、たっぷり時間をとって、その場にたまたま居合わせたお客様であっても、あるいは特定の動物を目当てでも、時間を気にせず参加できる、この方式をとってみることにしたのです。このスーパーカーの良いと

ころは、ある決まった動物だけを解説するのではなく、行く先々で、他の動物のことも質問されると適当な教材を使ってお知らせすることができるという点です。

子どもさんたちにはとても人気で、時々クイズに使うグッズを持ってくれたり、途中まで重いツノを一緒に持って歩いてくれたり、とても助かります。

将来は、電気自動車のような本当の「カー」でゆっくり、ゆったり回れるとよいなあと思っています。

次は、暖くなる3月中旬から発進となります。スーパーカーを、どうぞよろしく！

並木 美砂子 (Misako Namiki)





カフジ・ビエガの (コンゴ共和国) 子どもたちへの手紙

7月から10月いっぱい、動物科学館2階の特別展示室ではコンゴ民主共和国での保護活動を行っているポポフ（ポレポレ基金の略称）の紹介と、ゴリラクイズを行ってありました。この展示を見た子どもたちのうち、幼稚園児と小学生229人に、ア

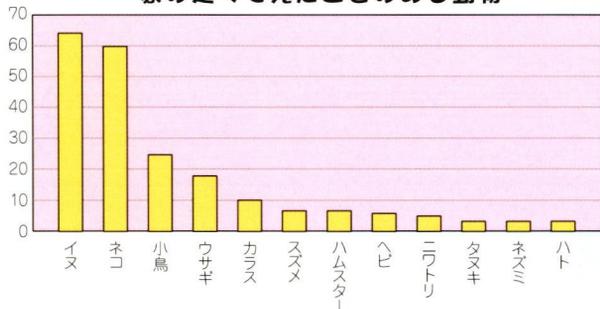
ンケートをお願いしました。日本の子どもたちが、コンゴの子どもたちに聞いてみたいことをあげてもらったのです。また、日本の子どもたちの日常生活を知ってもらうための項目もありました。その答えの傾向はこのグラフのとおりです。



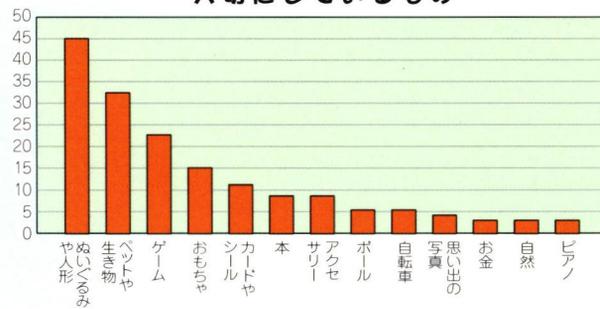
カフジ・ビエガの子供たちに聞いてみたいこと



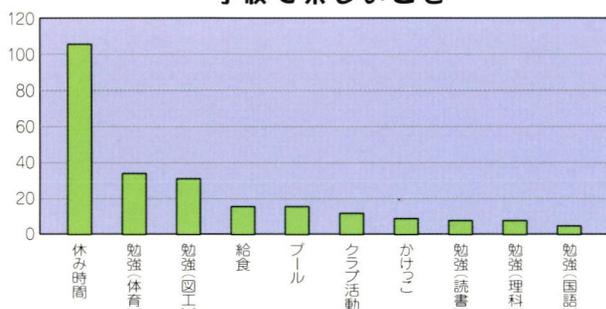
家の近くで見たことのある動物



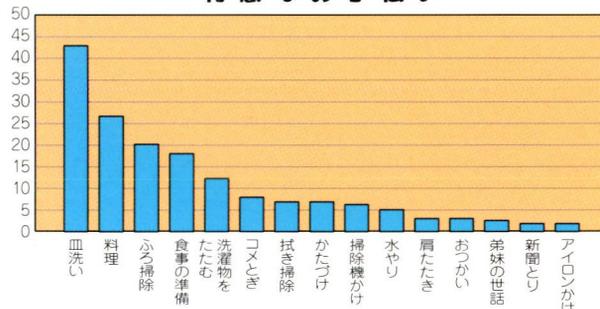
大切にしているもの



学校で楽しいこと



得意なお手伝い



コンゴの子どもたちに聞いてみたいことの第1位は「どんな遊びをするのですか？」でした。ゴリラについて聞いてみたいことは「ゴリラと遊びますか？」「ゴリラと会ったことはありますか？」等です。

日常生活のうち、日本の学校のことについての質問「学校で楽しいことは？」に対しては、圧倒的に「休み時間」で、次いで体育や図工の時間が楽しいという答えが多くなりました。お手伝いは「皿洗い」「お料理」「ふろ掃除」をしている子どもが多いようでした。家の周りで見ることがある動物は、イヌとネコがほとんどで、あまり野生の動物たちは見ていないことにな

ります。

この結果を、ポポフの活動を日本でやっている京都大学教授の山極寿一先生に頼んで、カフジ・ビエガの地域に住んでいる子どもたちのもとにも運んでいただくことになりました。

そして、現地の子どもたちが、逆に日本の子どもたちに聞いてみたいことも山極先生に届けていただくことになっています。その手紙の公開も、また次の企画展で行いたいと思っています。お楽しみに！

並木 美砂子 (Misako Namiki)



動物公園の植物…②②

The plants in the Zoological park



健康管理センターから

From the Animal Health Center

フサアカシア【別名：ミモサ】(Acacia decurrens var. dealbata)



フサアカシアは、マメ科アカシア属の常緑高木です。

原産地は、オーストラリアで日本には明治初年に入り、関東以西の暖州に植栽されているものです。自然では、ニューサウスウェールズ州、タスマニア島に自生しております。

形態は、幹は直立で、分枝し、高さ10～15mになります。若枝は有毛、葉は大形の偶数2回葉状複葉で、長さ8～16cm、小葉は線形で長さ0.5cm、短軟毛があり裏面は銀白色をしています。

雌雄同株で、開花は2～3月、枝先に濃黄色で芳香のある頭状花序を総状に30個以上つけます。豆果は、扁平で無毛、色は濃褐色で、長さ3～12cm、幅0.8cmくらいになります。

特性は、強健で日当たりがよければ土質を選ばず、乾燥地やアルカリ土、やせ地にも育ち、成長は早いですが、浅根性のために外力によって倒伏しやすく、また枝折れも多い状況があります。また、大気汚染には強く都市環境でも育ちます。他のアカシア類同様に根粒菌をもち、肥料木として使われます。

繁殖は、おもに実生により3～4月にまき、実生3年で3mにまで成長します。移植による植栽は困難です。

管理は、ほとんど手入れの必要はありませんが、風による被害を防ぐためにも夏に枝透かしが必要です。

施肥は、特に必要ありませんが、病害虫については、太枝の切り口から腐敗菌が入りやすいので注意が必要です。

動物公園では、草原ゾーン内に植栽しておりますので、フサアカシアの濃黄色で芳香のある花が咲く頃に探してみたいかがでしょう。

用途は、庭木・花材・器具材などに使用されます。

岡澤 薫 (Kaoru Okazawa)

アルダブラゾウガメ

昨年10月子ども動物園がリニューアルオープンし、2頭のアルダブラゾウガメは、以前より日当たりが良く十分な暖房も入る新獣舎に引っ越しました。11月には新たに京都の動物園からの3頭も加わり賑やかになりました。しかしそれも束の間、12月に1頭具合が悪いと呼ばれて行ってみると、ひどく苦しそうです。すぐ手当をしましたが、その甲斐なく翌朝死んでしまいました。肺炎を起こしていましたが、余りにも急なことに呆然となりました。そして続けて翌年2月、もう1頭も具合が悪くなったのです。幸い、前より軽かったようで治療後少し回復しました。しかしなぜか餌を食べません。好物のトマトなどにも見向きもせず、飼育担当も心配そうです。いつもなら少しの間餌を食べなくても平気ですが、この事態ではのんびり構えてもいられません。前と何が違うのか考え、あることを思い出しました。前の放飼場には大きな木があり、秋に葉が散ると、カメは餌そっちのけで落ち葉をたくさん食べていました。仮住まいのフリーディング舎でもそうでした。けれど新獣舎に落ち葉はほとんどなかったのです。これなら今まで食べていたので毒ではないはず。ものは試しと園内の林から落ち葉を一掴み取ってきて、いつもの餌の上にパラパラとふりかけてみました。するとたちまちカメの目の色が変わり、やおら葉っぱに食いつき、その下の餌も一緒に飲み込んでいます。あまりにも思い通りで驚きながらもさっそく担当に伝えました。担当も半信半疑でしたがしばらく落ち葉を餌にふりかけてもらいました。こうして餌を食べ始めたのです。カメは治療で皮膚を傷め、まだその手当をしています元気そうです。時々散ってくる桜の葉を京都のカメともども食べています。他の動物も落ち葉を食べることがあります。落ち葉は栄養分もなく食べ物とは思えませんが、考えてみると案外そうでもなく、何かの役に立っているのかもしれない。ちょっと驚いた出来事でした。

辻村 直美 (Naomi Tsujimura)





動物公園日誌から

From Zoological Park Diary

'02年8月1日~'02年10月31日

- 8月1日 養護学校先生 体験研修 1名 (8/2まで)
- 8月3日 オウギアイサ (雄1) 腸炎にて死亡
学芸員実習 1名 実施 (8/13まで)
- 8月4日 ゴリラ 一般公開記念式典 開催 (午前10:00~)
- 8月6日 キンカジュウ (1頭) 繁殖
- 8月7日 キンカジュウ 授乳確認
- 8月8日 市内中学校 体験学習 7名 実施
- 8月11日 ヨーロッパバイソン 元気消失見られる
- 8月12日 ヨーロッパバイソン (雄1) 循環障害にて死亡
- 8月13日 ゴリラワークショップ開催
- 8月14日 カムリバト (1羽) 繁殖
- 8月15日 シロミミキジ (雌1) 腹膜炎にて死亡
ミーアキャット 乳頭大きく、妊娠の可能性あり
コアジサシについての取材あり
- 8月19日 コアジサシ (今年生まれ) 3羽 小櫃川河口へ放鳥
- 8月20日 高校生 体験学習 5名 実施 (8/22まで)
- 8月21日 シロオリックス (雄) 担当者に攻撃的になる
- 8月23日 シロオリックス (雄1) 繁殖
- 8月24日 カイウサギ (2頭) 繁殖
- 8月26日 ペンギン舎 ポンプ工事実施
- 8月27日 シロオリックス (雄1) 先天性障害にて死亡
- 8月28日 ビグミーマーモセット (2頭) 繁殖
- 8月30日 セスジクスクス (雌1) 肝不全にて死亡
- 8月31日 飼育実習 1名 実施 (9/16まで)
- 9月1日 ペンギン会議開催 (於: 動物科学館 9/2まで)
- 9月3日 設置カメラ 点検実施
- 9月4日 ゴリラ (モモタロウ) 体重測定 21kg
- 9月9日 フサオマキザル (雄1・雌1) 円山動物園より寄贈にて新着
学芸員実習 1名 実施 (9/17まで)
- 9月11日 ケープペンギン (6羽) 検疫明けにてペンギン池に移動
- 9月14日 ショウガラゴ (2頭) 動物交換にて搬出
ショウガラゴ (1頭) 動物交換にて搬入
- 9月15日 「ワンポイントウォッチング」開催 (フタユビナマケモノ)



- 9月17日 ハワイガン・オンドリ (各4羽) 東京都大島公園より寄贈にて新着
- 9月18日 バカ (雌1) いしかわ動物園より寄贈にて新着
ゴリラ舎 塗装工事実施
- 9月19日 関東東北ブロック技術者研究会 辻村出席 (於: 小田原動物園)
- 9月22日 ミミナガヤギ 元気消失にて補液、治療等実施
動物愛護特別講演会開催
- 9月24日 クロザル (1頭) 繁殖
ゾウ舎 自動扉保守点検実施
- 9月26日 コサンケイ (雌2) 仙台市八木山動物園に貸与にて搬出

- 9月27日 ミミナガヤギ (雌1) 衰弱にて死亡
飼育実習 1名 実施 (10/11まで)
- 9月28日 旭山動物園職員 1名 子ども動物園への視察あり
- 9月30日 アシカ (仔) 強制給餌実施
- 10月1日 モウコノウマ 腰麻痺予防薬投与
- 10月2日 カピバラ (雌1) 子宮破裂にて死亡
- 10月4日 ウマ 伝染検査のため採血実施
- 10月5日 アミメキリン (雄1) 心筋症にて死亡
- 10月6日 「動物公園秋祭り」 バルーンアートショー開催
- 10月7日 クビワコガモ (雄1・雌1) 市川市動植物園より寄贈にて新着
電気設備点検のため全園停電
- 10月8日 マンドリル (雄) 脱毛目立つ
- 10月9日 ソウ会議 浅野出席 (於: 静岡日本平動物園 10/10まで)
市内中学校 体験学習 3名 実施 (10/11まで)
- 10月13日 動物愛護標語入選者表彰式
動物愛護標語募集で、北川果萌さん (四街道市・小6) の作品が、全国で銀賞となり授賞式が行われました。
子ども動物園 ウマ全頭 削蹄師による削蹄の実施
折り紙教室開催
- 10月14日 ゆかいな森の音楽会開催



- 10月15日 アカハナグマ (4頭) 繁殖
シバヤギ (雌2) 群馬サファリパークに譲渡にて搬出
- 10月16日 アメリカバイソン (雄1・雌1) 群馬サファリパークより受贈にて新着
- 10月20日 「ワンポイントウォッチング」開催 (チンパンジー)
- 10月21日 マンドリル (雌1) 円山動物園に譲渡にて搬出
バードホール 植栽剪定実施
- 10月24日 アシカ全頭 糸状虫症予防薬投与
- 10月25日 アフリカヘラサギ 産卵あり
- 10月27日 ペーパークラフト開催
- 10月28日 オオカンガルー 育児嚢に仔確認
- 10月29日 ウマ・ロバなど 腰麻痺予防薬投与
- 10月30日 市立千葉高 校外学習実施

牧野 辰男 (Tatsuo Makino)

編集後記

雨あがり、レッサーパンダわきのササの葉が雨滴をいっぱいにうけ、となりの紅葉の葉が前夜の強い雨で、あたり一面に散らばっていた。にぎやかだった当動物公園も静けさをとりもどし、落ち着いたたたずまいです。猛暑の夏、そして秋、冬は目前に迫って来ている今日この頃です。レッサーは元気をとりもどし、喜んで歩き回っています。「冬好き」といわんばかりに。この時期、動物公園を訪ねるのもまたいちだんと趣があります。是非ご来園をお待ちしています。

なお、次回の発行予定は3月1日です。

みなさんお元気で“カゼなどひかないように”

名和 全孝 (Zenkou Nawa)



オウサマペンギン

 **Information**

平成14年12月・平成15年1月・2月の
催し物一覧

- ★ 12月8日(日) クリスマス音楽会
- ★ 1月2日(木) 正月開園・新春お年玉抽選会
- ★ 1月3日(金) 新春お年玉抽選会
- ★ 1月6日(月) 臨時開園
- ★ 1月12日(日) バードウォッチング

上記以外の土曜・日曜・休日は動物公園映画会を上映